

黒い履歴を
白くすれば……

個人データ 消し屋 というお仕事

取材本文 編集部

特集
まだまだカネは
借りられる

〈低金利一本化。どんな方にもお貸しします〉

〈無担保ローン300万迄 貸付件数不問〉

電話ボックスやスポーツ新聞などに登場する甘い誘い文句。紹介屋のチラシである。

紹介屋とは文字どおり、多重債務など借入先が見つからない客に融資OKのサラ金を紹介し、その手数料として融資額の1〜3割を受け取る業者である。が、その正体は、単なる悪徳金融。切羽詰った人間から金をむしりとする悪魔のような連中だ。

彼らの手口を簡単に説明しましょう。まずチラシを見たカモが電話をかけてきたら、もっともな口調で対応しつつ、名前、住所、債務状況を聞き出す。そこでいったん受話器を置き、タウンページなどで街金をテキストにピックアップ。しかるのちに連絡を入れる。

「お客様の条件に見合った業者がみつかりました。お近くですと△△ローンです。ただし、今回は特別ルートを使いましたので、当社のことはいっさい秘密にしておいてください。必ず厳守をお願いします」

カモが真に受ければしめたもの。

審査を通ったあかつきには、手数料を受け取り完了とあいなる。これだけで一回数万から数十万の収入。ホロい商売だ。

ところで、紹介屋がよく使う台詞としてこんな口上がある。

「コンピュータのデータを少しの間変えておきますから、○時から△時の間にXXローンへ行ってください。そうすれば必ず借りられます」

通常、消費者金融で取引される記録の一切はJIC（全情連）という信用情報機関に登録される。内容は、融資額に始まり、返済期間や完済日などから、任意整理、自己破産といったブラック情報まですべて。登録業者ならいつでも照介できる。

言えば、返済滞りがちの多重債務者にとっては地獄の閻魔様。この審査がある限り、新たな融資は望めない。

そこに目をつけたのが紹介屋だ。「確実に審査を通す」と囁やかれたカモなどひとたまりもない。

が、冷静に考えれば一介の業者にデータ改ざんなどできるわけがない。相手は厳格に管理された公機関。荒唐無稽な話だ。普通なら誰もかそう思っ。

信用情報センターの幹部を酒と女で丸め込む

しかし、コンピュータの履歴改竄を請け負う業者は確かに存在する。それが「消し屋」と呼ばれる連中だ。

今回登場してもらおう福山氏（仮名、35才）はキャリア5年の消し屋だ。

「始めに断っておきますが、『消し屋』一本で食べているわけじゃありませんよ。しょせんはアルバイトなんです。ただ、紹介屋と違つて仕事は確実にこなしますが」

昼間は真つ当なコンサルタント会社を経営。税理士の資格を持つ氏はそのかわら、一部の得意客に税金、銀行融資などの抜け道を指南している。

言わば金融のプロフェッショナルともいえる彼が、この稼業に首を突っ込むことになったキッカケは、馴染みの不動産屋からの相談を受けたことだった。

「資産管理を任されていたお得意さんに『何とかしてくれ』って泣きつかれました。そこは、バブルの最中も堅実に商売しており資金は豊富にあるんです。はて、と思ひ詳しく聞いてみると、問題は客

の方だったんです。せっかく売買契約までこぎつけても、住宅ローンの審査で断られる連中がいるらしい。それが、ヘタすりゃ年に4〜5件というからシャレにならないでしょ」

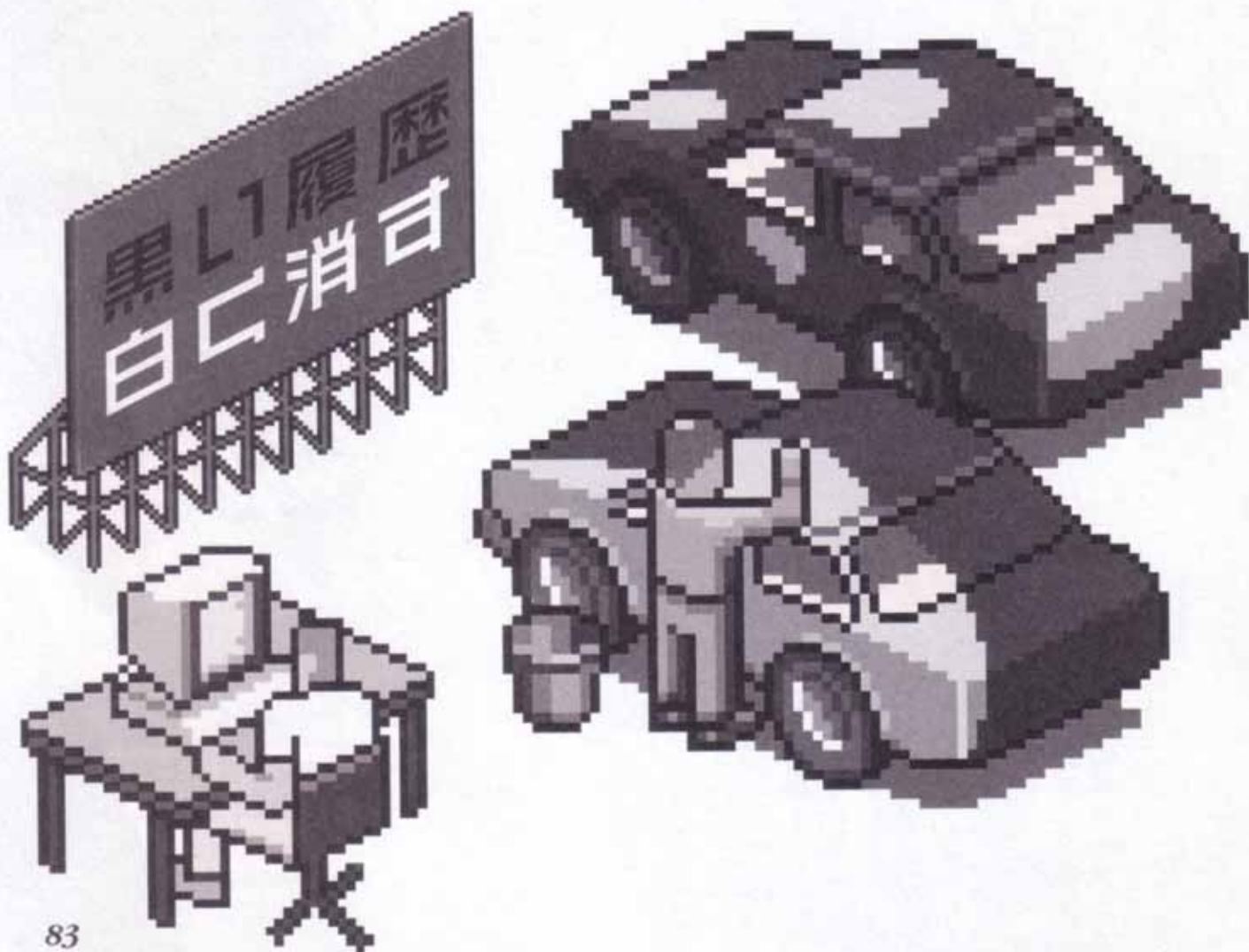
1件が数千万単位で金が動く不動産業界。それが数件流れたら、まさに死活問題だ。氏が懇意にする不動産屋が泣きついてくるのも当然だった。

が、責任はあくまでも客の資金管理。バブルが弾け、貸し渋りムード一色の銀行が、ブラックの人間を警戒するのは必然といえる。

相手は銀行と信用情報機関。こりゃ、どうにもならん。私にはムリだといつたんは断つた。

「けど、報酬が100万とか言われると、あきらめきれなくて。なんとかしてブラック情報そのものを消す術はないかなあ、と考え始めたんです。もちろん、センターへ侵入してコンピュータをイジったり、ましてやコンピュータをハッキングうんぬんなんて夢の話です。やはり、内部の人間に頼むのが一番かなって」

信用情報機関で働く人間に協力を頼めれば可能性は高い。が、問題は内通者にどう渡りをつけるか。



「そら、簡単に行くなんて思いま
せんでしたよ。相手が相手ですか
らね。けど、どんな組織にだって
金さえ積みめば動く人間ってのは
いるでしょ？で、ことあることに
「信用情報センターに知り合い
ないかなあ」と吹いて回ったこ
ろ、以前より懇意にしていた議員
秘書が話に乗ってきたんです」

議員秘書が、そんなバカな。読
者のみなさんはそう思われるかも
しれない。が、蛇の道は蛇とはよく
言ったもので、秘書いわく、信用情
報センターの幹部に知り合いがい
るとのこと。氏が10万円のポケット
マネーを握らせると、アッサリその
人物との面会を約束してくれた。

「ダメ元です。話がオシャンにな
っても、職業柄、顔つなぎはメリ
ットはありますからね」

約束を取るが早い、氏はその
幹部をクラブに呼び出し、酒を飲
ませた。歳は50前後。とても危な
い橋を渡る風には見えない。

ところが、2時間はかりだった
ところで、相手がふと漏らした。
若い愛人ができたばかりでいくら
金があっても足りない、と。

「もらったあ！って感じてですね。
もう遠慮なく切り出しましたよ。
」データを少し改竄するだけで1

JIC本部には膨大な量の
データが管理されている

件50万のバイトがある」って。目
の色変えてましたけど、即答はも
らえませんでした」

忙しい月初めなら 何とかかなりそうだ

幹部から連絡が入ったのは数日
後のこと。福山氏が改めて「仕事
を申し込んだところ次のような答
が返ってきた。

ブラックでもグレーでも過去の
情報を消す事は可能だ。が、10
0%とは言えない。ついては、最
低2カ月の猶予が欲しい。出来る

とすれば、仕事が最も忙しくなる
月初めの1〜5日、この時期なら
なんとかかなりそうだ、と。

さらに注意がひとつあった。

改竄するのはあくまでも信用情
報センターのデータのみ。銀行、
信販、サラ金などの金融機関が個
別に管理している分までは当然タ
ッチできない。そのため、いくら
センターをパスしたところで、同
系列の機関にノコノコ出向けは、
審査を断られる可能性は十分考え
られる。いや、場合によっては命
取りになりかねないから、慎重に

事を進めてもらいたい」。

幹部は本気だった。

「もちろん、二つ返事で了解しま
した。で、その足で不動産屋に行っ
て、該当のお客さんの履歴を確認
するとこれが本当に真っ黒で……」

自己破産や任意整理はないが、
信販系のカードでズルズル3年、
返済遅延の常連だった。

住宅ローンの申し込み金額は2
千万。これなら断られても無理は
ない。というより、こんな客に住
宅ローンを組ませて平気なのか。
疑問に感じた氏が不動産屋に問い



ただしたところ、結婚したばかりの女房方の実家が資産家とのこと。いざというときなんとかなるとの読みだ。

それなら初めから金を出してもらえばいいのに。と思いつつも、氏はさっそく幹部へ電話をかけた。果たして、新たな申請が審査を無事にパスし、約束どおり100万が支払われたのは3カ月後のことである。幹部へ50万渡しても懐には50万。投資は十分に返ってきたのだ。

多重債務者からの依頼が殺到

その後まもなく、福山氏はデータ改竄のターゲットを多重債務者にシフトする。

「これはどちらかというところと自分の意向じゃなく、客からの要望だったんですよ」

最初の客は46才の会社員だった。親戚のツテを通して話かきた。

「これが悲惨な人でして、2年前に脳血栓で倒れたんですけれど、入院する前にサラ金3社からツマンでました。120万くらいかな。そんな事情でも返済できなきゃブラックはブラックでしょ」

この会社員、幸いなことに職場

復帰は実現可能だった。120万円もマジメに生活すれば返済できない金額ではない。

が、退院したばかりで先立つものがない。そこで他のサラ金に向いてみたものの融資は却下。途方に暮れ氏の元を訪れたというワケである。

「そんな事情聞かされたら、さすがに断り切れなくて、で、モノは試しと再び幹部に連絡を取ったんです。報酬はグツとさげて20万。渋ってましたが、最後は引き受け

てくれました。結局、80万ほど借りられたのかな。私が受け取ったのはたった5万だけですけれど。まっ、口を利くだけでリスクはないし、事情が事情ですから」

この一件が契機となり、福山氏のもとへは徐々に同様の依頼が舞い込んできた。が、そのほとんどが多重債務者。たいした金にならない。中には自己破産から復活した金払いのよい連中もいたが、わずかばかりだ。氏は業務を縮小さざるを得なかった。

「当たり前ですよ。やはり頻繁にイジるとリスクが高くなるだけで、協力者も嫌がりません。今ではよほどのことがない限り、やっておりません。まっ、金になる不動産屋なら話は別ですが」

★ 警察の情報漏洩が当たり前の時代。借金データの消し屋が存在しても何の不思議もない。が、うまくいったところでその見返りは借金増額。消し屋も紹介屋も、辿りつく先は結局同じなのだ。

受付番号 □□-□□□-□□□□□□
平成 年 月 日
受付日

御中

信用情報（全情連・テラネット）開示請求書

↑ 開示を希望される情報について○を付して下さい

全情連情報：消費者金融業者を主な会員とする信用情報機関の情報
テラネット情報：信販会社やクレジットカード会社を主な会員とする信用情報機関の情報

上記の情報について開示を請求します。

1) 開示対象者本人

フリガナ	テラネット	性別	男
氏名	鉄人 太郎	生年月日	明・大・期
フリガナ	東京都千代田区九段南3-4-5	フリガナ	79バ大校
現住所	〒102-0074	自宅	○
自宅電話番号	03-5214-5971	勤務先電話番号	03
フリガナ	テラネット	勤務先名	鉄人社

2) 代理人

フリガナ	性別	男・女
代理人氏名	生年月日	明・大・期
現住所	〒	TEL

(III) 請求理由等

① 請求理由（具体的にご記入下さい）
債務状況再確認のため

② 前住所（住所変更または電話番号変更をしたことがある方はご記入下さい）

住所	電話番号
〒 ()	
〒 ()	

債務状況を確認するにはこの申請書に記入すればOK。無料で利用可

センター使用権
本人確認の書類： 運転免許証 健康保険証 その他 ()